

アクセス・施設配置図



知多南部広域環境センター

問い合わせ先(ごみ持込・工場見学): グリーンパーク知多南部株式会社
〒470-2513 知多郡武豊町字一号地11番地37 TEL: 0569-84-1732 (ごみ持込) 0569-84-1733 (工場見学)

もったいないの心で資源循環型社会を目指しましょう!

Refuse

リフューズ(断る)
ごみになるものを
断りましょう!

- 本来に必要なものを買きましょう。
- レジ袋や過剰包装を断りましょう。



Reduce

リデュース(減らす)
ごみを減らしましょう!

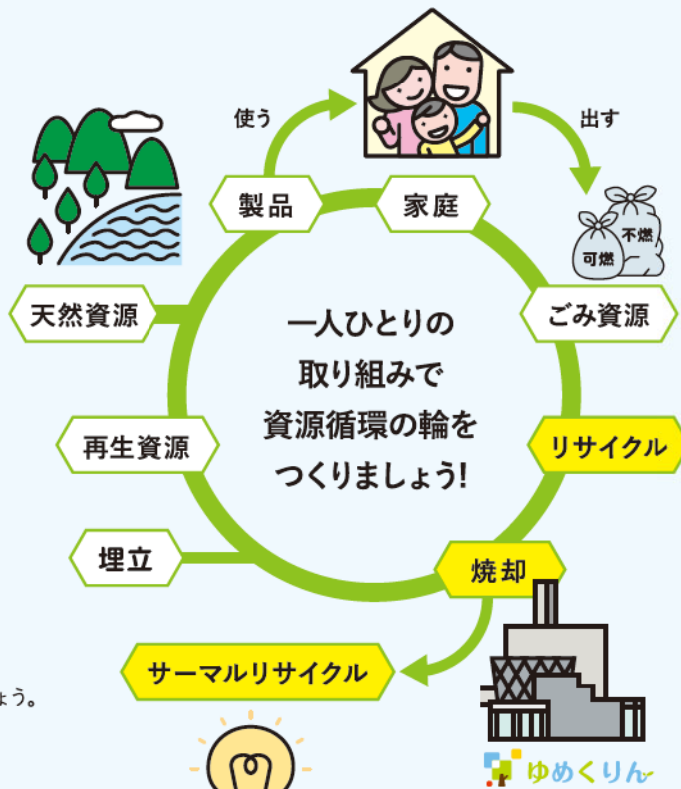
- ものは最後まで大切に使い切りましょう。
- 必要なだけ買しましょう。
- 食材を捨てない工夫をしましょう。



Reuse

リユース(再利用する)
繰り返し使いましょう!

- 不要になったものでも使えるものは、リサイクルショップなどを利用しましょう。
- 修理して使いましょう。



Recycle

リサイクル(再資源化する)
リサイクルに
協力しましょう!

- 地域のルールに従って分別をしましょう。
- 再生品を選んで使いましょう。



もったいないの心を育み
美しい環境を
未来に伝える施設



知多南部広域環境センターのご紹介

はじめに

知多南部広域環境センター「ゆめくりん」は、半田市、常滑市、南知多町、美浜町および武豊町の可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみを安全に処理するための施設です。

平成10年10月、愛知県は「愛知県ごみ焼却処理広域化計画（愛知県環境部廃棄物対策課）」を策定しました。

ごみ排出量の増加に伴うリサイクルの必要性、ダイオキシン対策などの環境保全対策、最終処分場の確保が困難なことなど、ごみ処理におけるさまざまな課題に対応するために、「ごみ処理広域化計画」を国が策定し、それを愛知県が受けたものです。

平成11年10月、広域化計画を受け、知多南部地域ごみ処理広域化ブロック会議を設置し、平成13年度には、広域化を推進するために「知多南部地域ごみ処理広域化計画」を策定しました。知多南部地域を1つの施設に集約することで、循環型社会の形成、地域環境の保全に配慮したごみ処理を目指すものです。

平成21年度には、県知事より「知多南部広域環境組合」の設置許可を受け、平成22年度には、組合が発足しました。ごみ処理方式は、ごみ処理技術検討委員会において、ストーカ方式とすることを決定しました。さらに、ごみ焼却施設整備計画等策定、地質・測量調査、環境影響評価調査等を進め、平成29年度には建設用地を取得しました。

地域環境や経済性に配慮し、長い年月をかけ計画を進め、令和元年8月に本工事着工、令和4年3月に竣工しました。

ゆめくりんは、安全で安定的なごみ処理を行っていくとともに、工場の見学コースや管理棟での展示、体験学習により、地域の環境拠点として、美しい地域を未来に伝える施設を目指していきます。

令和4年3月

知多南部広域環境組合



タイムトリップウォール



エコツリー



管理棟

施設概要

- 施設名称：知多南部広域環境センター
- 所在地：〒470-2513 知多郡武豊町字一号地11番地37
- 敷地面積：50,000.61m²
- 建築面積：8,215.95m²
- 延床面積：15,299.83m²
- 構造：鉄筋コンクリート造、
(管理棟・工場棟) 鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造
- 高さ：約35.7m(地上6階、地下1階)、59m(煙突)
- 処理能力：●熱回収施設：283t/24h
●不燃・粗大ごみ処理施設：14t/5h
- 処理方式：連続運転式ストーカ焼却炉(2炉)
- 処理対象物：可燃ごみおよび不燃・粗大ごみ等
- 管理・運営：グリーンパーク知多南部株式会社
- 竣工：令和4年3月31日

排ガス排出基準

(O₂12%換算)

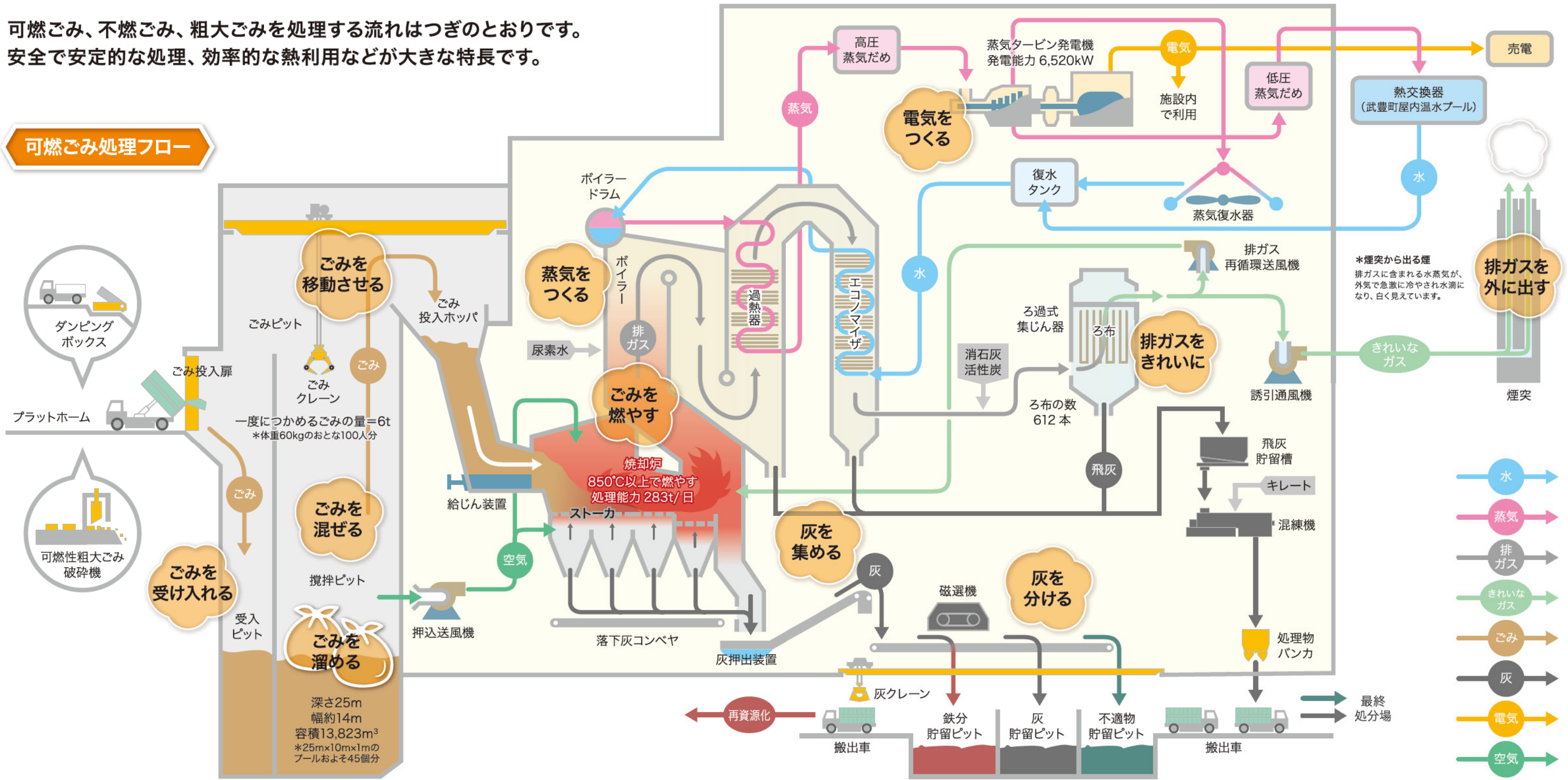
項目	法令基準値	運転基準値
ばいじん量	0.04g/m ³ N以下	0.01g/m ³ N以下
塩化水素	430ppm以下	30ppm以下
硫酸化合物	K値=1.75 (161ppm以下)	30ppm以下
窒素化合物	250ppm以下	50ppm以下
ダイオキシン類	0.1ng-TEQ/m ³ N以下	0.05ng-TEQ/m ³ N以下
水銀等	30μg/m ³ N以下	30μg/m ³ N以下
一酸化炭素	100ppm以下(1h平均値)	50ppm以下(1h平均値)



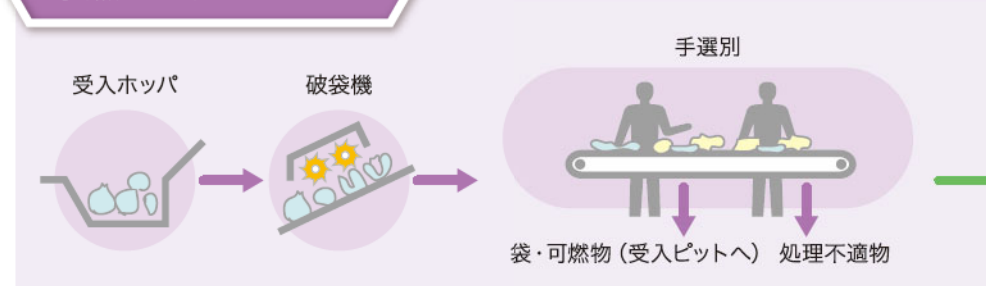
ごみ処理のしくみ

可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみを処理する流れはつぎのとおりです。
安全で安定的な処理、効率的な熱利用などが大きな特長です。

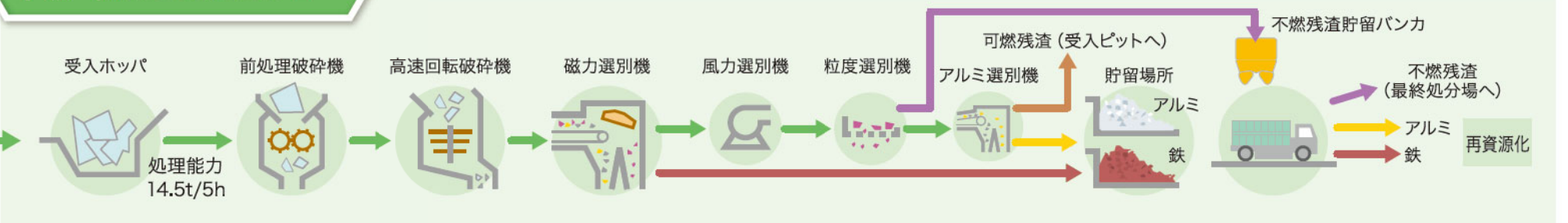
可燃ごみ処理フロー



不燃ごみ処理フロー



不燃・粗大ごみ処理フロー



写真で見るとごみ処理のしくみ

工場内には、ごみを処理するために、さまざまな機械が設置されています。見学コースからは これらの機械を見ることができます。

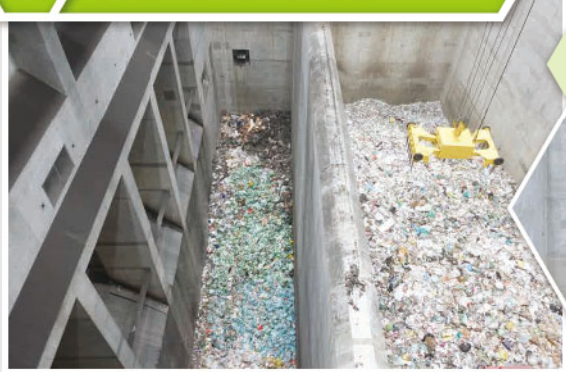
1 プラットホーム



ごみの重さを計るごみ収集車

ごみを集めたごみ収集車は、計量機でごみの重さを計ると3階プラットフォームに入ります。集めたごみはごみ投入扉からごみピットに投入します。ごみの量を記録し、ごみ処理の計画に役立ちます。

2 ごみピット・ごみクレーン



ごみを移動したり混ぜたりするごみクレーン

ごみピットは、ごみを投入するための場所とごみを溜めて混ぜる場所に分かれています。水分の多い燃えにくいごみや乾燥した燃えやすいごみをかき混ぜたり、移動させたりするために大きなごみクレーンが設置されています。

3 焼却炉



焼却炉の中の様子

ごみが燃えている様子

ごみピットでかき混ぜられたごみは、焼却炉でゆっくりと燃やします。焼却炉内部は、乾燥帯、燃焼帯、後燃焼帯の3つに分かれています。ごみを燃やす温度は、850℃以上で、1日に1炉あたり141.5t、2炉で283tのごみを燃やすことができます。

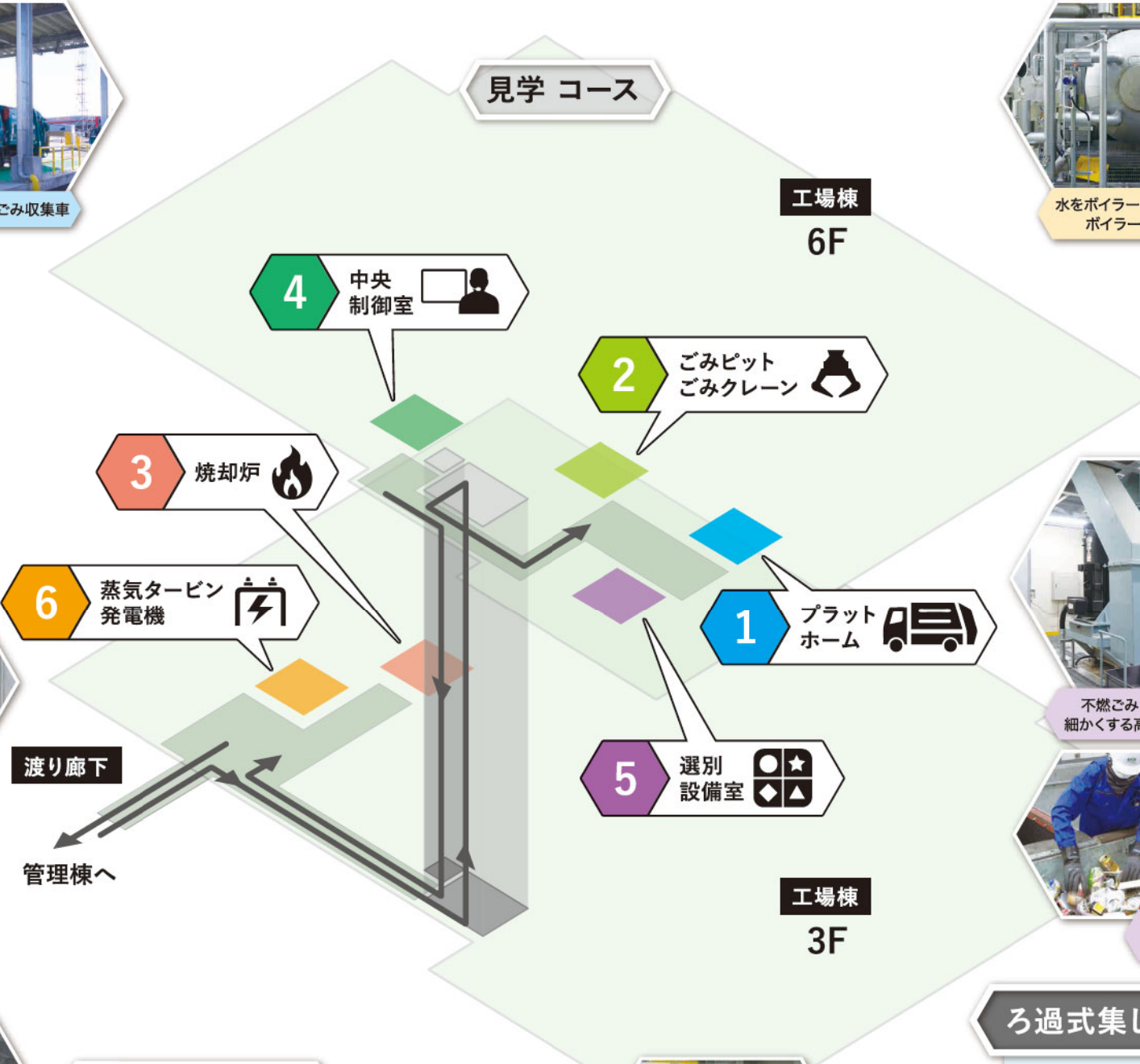
4 中央制御室



クレーンを操作しごみを混ぜる

中央制御室は、施設全体のごみ処理の運転・管理をする部屋です。ここでは交代で24時間、運転の技術者が常駐し、安全で安心なごみ処理を行っています。モニタには、各機械から送られてくる映像が映されています。

見学コース



渡り廊下
管理棟へ

工場棟
6F

工場棟
3F



水をボイラーに分配するボイラードラム

蒸気タービン発電機 6



ごみを燃やすと熱が発生します。熱は、焼却炉と一体となったボイラーで、蒸気をつくります。蒸気は、蒸気タービン発電機に送られると羽根車を回転させ電気をつくります。蒸気は隣接する温水プールの水を温めたり、冷暖房にも利用されます。

選別設備室 5



不燃ごみ・粗大ごみを細かくする高速回転破砕機

危険物を取り除く手選別作業



不燃・粗大ごみは、2種類の破砕機で細かくしたあと、磁石、風力、粒度の選別方法で鉄とアルミを取り出します。リチウムイオン電池などが誤って混入すると発火事故が発生する可能性があるため、事前に人の目で確認をしています。

ろ過式集じん器



ろ過式集じん器のなかに設置される612本のろ布



ごみを燃やすと排ガスが発生します。排ガスには有害な物質が含まれるため、ろ過式集じん器できれいにしたあと、煙突から外に出されます。ろ過式集じん器のなかには、フィルタが設置されており、薬剤を使って有害物質を取り除きます。